

第2回うきは市立小・中学校のあり方検討委員会

開催日時	令和7年2月21日（金）10:00～11:30
開催場所	うきは市役所3階大会議室
参加者	麻生委員長、白石副委員長 保護者代表：佐藤委員、吉田（代理 江口）委員 地域代表：江藤委員、石井委員、物部委員、國武委員、松木委員、渡邊委員、 佐藤委員、梶原委員 学校長：金子委員、竹並委員、石井委員、古賀委員 市議会議員：岩淵委員、高木委員 教職員組合：良永委員 市職員：吉松委員 事務局：樋口教育長、岡村学校教育課長、江藤市民協働推進課長、高瀬企画財政課長、物部指導主事、石橋教育総務係長、井上事務主査
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設毎の維持・更新コストについて (2) 施設のコスト情報について (3) 会計年度任用職員(学校)の状況について (4) 今後のスケジュールについて 3. その他 4. 次回検討委員会開催日 ※ 会議終了後、浮羽中学校視察
議事要旨	<p>教育長あいさつ</p> <p>第2回うきは市小・中学校のあり方検討委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。先月31日に第1回検討委員会を行い、事務局から児童生徒数の減少や今後の推移、小・中学校施設の劣化状況、浮羽町域における学校再編の必要性について説明をさせていただいたところです。本日の「第2回検討委員会」では、現在の学校校舎を今後維持・管理していくために、どの程度の経費を要するのかといった点から、今後の学校のあり方を考えていただきたいと思います。</p> <p>そのために、この後の1つ目は、浮羽町域の小・中学校ごとの今後40年間、施設を維持更新していくために必要な費用について、2つ目は、浮羽町域の小・中学校における光熱費など学校の維持管理上必要な経費について、3つ目は、浮羽町域の小・中学校に勤務する市雇用の会計年度任用職員の報酬等の支出について、各資料をお示しします。今後、学校単位、または浮羽町域全体として、またはうきは市全体として、コストをどのように抑えていくかという観点から、今後の学校施設の望ましいあり方についてご協議いただきたいと思います。そして、委員の皆様お一人お一人が、魅力ある学校づくりのイメージを更に一歩前進させることができるような会議にしていきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>

前回委員会での指摘事項への対応について（修正資料）	
地域代表 A委員	児童生徒数の集計時点が4月1日から5月1日に変更になったのはなぜか。 →事務局：児童生徒数の推移が一部推計値であったため、全てを実績値に変更した。 実績値の月日については学校基本調査等、国や県の基準が5月1日時点の児童生徒数であるため、公表する数値は全て5月1日としている。
委員長	御幸小学校の北校舎の健全度は60%ではなく100%の誤りではないか。 →事務局：ご指摘のとおり数値が誤りであるため修正する。
（1）施設毎の維持・更新コストについて（資料1）	
	（意見なし）
（2）施設のコスト情報について（資料2）	
地域代表 B委員	提示された数値をどのように判断したらよいのか分からない。 →事務局：光熱費等の維持保全費が増加しているということをご理解頂きたい趣旨で具体的な数値を示している。
地域代表 C委員	この検討委員会の目的や位置づけについて改めて示してほしい。単なる情報共有ではなく小中一貫や統合の問題等を議論していくものと想定していた。 →事務局：本検討委員会では、目指すべき学校のあり方や魅力的な学校とはとは何か、また、それをどのようにして作っていくべきかを検討していきたい。そのためにもまずは現状や課題の認識を合わせるため、児童生徒数や維持管理に要する必要経費の動向等について提示させて頂いている。
地域代表 D委員	市議会だよりには学校統合の話題が掲載されていたが、個人的には全く勉強していないため、現時点でより良い学校のあり方などは分からないし、この委員会での進め方も全く分からない。老朽化問題や小中一貫校、小学校3校統合などが具体的に示されれば分かりやすい。現時点で基本構想等が出来ているなら示して頂きたい。
地域代表 A委員	検討委員会後に中学校の視察があるが、施設を見て何を判断したらよいのか、検討委員会との関連性を含めて改めて教えて欲しい。個人的には、小中学校の老朽化問題と今後の学校のあり方検討は関連性がないと考えている。 →事務局：これまで応急的な措置は行ってきたが今後は大規模な改修が必要である。様々な観点で今後の改築のあり方を議論していくためにも、まずは老朽化の状況や、比較的健全で活用可能な施設（ランチルーム等）等も含めて実際に見て頂く必要があると考え、今回の視察を計画している。
委員長	本検討委員会では、単なる将来の理想像ではなく、具体的な学校のあり方を議論していくという認識で良いか。また、学校のあり方についてはゼロベースで議論していきたい中で、共通理解の目的で基礎情報の共有を図っているとの認識で良いか。 →事務局：ご指摘のとおり。
地域代表 E委員	結論を急ぐ必要はないと思うが、早めに方向性を決めた方が、具体的な意見も出やすいのではないかと。有意義で分かりやすい委員会にしてほしい。 →事務局：第1回と第2回の委員会は、学校再編を考える出発点として、委員の方々

	<p>に現状をご理解頂く趣旨で基礎的情報を示させて頂いた。今後どのような学校が望ましいのかという議論に繋げていきたい。</p>
委員長	<p>次回から具体的な論議をしていくということで良いか。</p> <p>→事務局：次回以降は少しずつ具体的な議論を進めていきたい考えている。</p>
市議会議員 F委員	<p>本検討委員会の対象は、うきは市全域なのか、旧浮羽町限定なのか、位置づけを改めて確認したい。</p> <p>→事務局：将来的には旧吉井町も検討もしていく想定であるが、今年度の検討委員会では旧浮羽町域のみを対象とする。</p>
市議会議員 F委員	<p>旧吉井町にも議論が及ぶ可能性があるなら、旧吉井町の関係者も委員に入れるべきではないのか。</p> <p>→事務局：今年度の検討委員会は浮羽町域に限定した論議・検討となるため、旧吉井町の関係者は含まれないことをご理解頂きたい。</p>
市議会議員 G委員	<p>市全体の公共施設のコストは、学校関係施設が 40%を占める。市の財政も考える必要があるし、少子化も踏まえて今後 50 年の学校のあり方を考えていく必要がある。市議会だよりでは、厚生文教常任委員会として、現在の学校数で行くか、小学校 3つを集約か、小中一貫・連携か、複数パターンが考えられる事を地域の方々に知って頂き、検討材料として頂くために示した。</p>
地域代表 A委員	<p>議会の中で本検討委員会のスケジュールやワークショップ等の具体的な内容が示されている。議会や校長会、教育委員会等には既に具体的な説明をされていて、最終判断に本検討委員会を利用しているのではないかと捉えている。</p>
市議会議員 G委員	<p>議会では検討委員会のスケジュール等は本委託業務の議案審査段階や市の HP に掲載されていた業務仕様書等で把握しているだけである。</p> <p>→事務局：先ほどの高木委員の発言にあった本検討委員会のスケジュールについて、本検討委員会支援業務の委託スケジュール（令和 6 年度～7 年度末）が HP 等に掲載されていた。また、前回の検討委員会でもスケジュール案を示し、中間取りまとめを行った後に地元説明会やワークショップを開催するという説明もさせて頂いたところである。したがって、現時点で何か方向性が決まっているわけではなく、決まっていることは本検討委員会の支援業務の委託期間のみであることをご理解頂きたい。</p>
地域代表 B委員	<p>何も決まっていない段階で、委託業者に何を依頼しているのか。</p> <p>→事務局：基礎的な資料を示しているが、次回から具体の案を提示していく予定であり、事業者へ委託しているのは複数考えられる再編パターンについて、それぞれどの程度の費用を要するのか等を検討し、最終的には検討委員会でまとまったご意見も含め、構想を策定する。その過程で行う会議やワークショップ、地元説明会等の支援も委託内容に含まれている。</p>
地域代表 B委員	<p>ある程度決まってからが良いのではないのか。普通は地元である程度考えて方向性決めてから委託するのではないのか。</p> <p>→事務局：検討委員会の資料作成も含めて依頼している。</p>

委員長	ある程度技術的な支援や専門的な知見が無いと具体的な議論が進まないため、検討委員会の資料作成も含めて業者に委託しているという理解をしている。
(3) 会計年度任用職員(学校)の状況について(資料3)	
	(意見なし)
(4) 今後のスケジュールについて(資料4)	
委員長	スケジュールについて第3回～先進地視察について改めて説明してほしい。 →事務局：第3回では学校のあり方を示す予定で、それを踏まえて先進事例を視察頂いた上で、第4回で改めてあり方検討を議論していく予定としている。
地域代表 D委員	第3回の議題が「基本構想」から「あり方」に変わっているが内容が変わったのか、単に名称が変わっただけなのか教えて欲しい。また、第3回であり方に関する具体的な内容が示されるという理解で良いか。 →事務局：第3回では学校種について提示する予定である。その方向性のひとつとして先進事例の視察を考えており、その先進事例の状況等も踏まえて基本構想を創っていきたいと考えている。
委員長	次回提示するのは基本的には今後想定される学校種であり、更に踏み込んだ内容というわけではないとの理解で良いか。 →事務局：ご発言のとおり。
市議会議員 G委員	事前に頭に入れておいた方が議論も深まると思うので、第3回までに学校種に関する資料は事前共有して頂けないか。 →事務局：文部科学省の関連資料を抜粋・整理した上で、遅くとも次回検討委員会の1週間前には提示する。
(5) その他	
地域代表 E委員	検討委員会の会場について、委員の多くが旧浮羽町の住んでいるため、市役所のみではなく浮羽町域にある市民ホール等での開催も検討頂きたい。 →事務局：市民ホール等の空き状況を踏まえて当該施設での開催も検討する。
地域代表 A委員	この検討委員会では、学校の改修・修繕等に関する具体的な内容まで検討する予定か。もし含まれていないなら現地視察の意味は無いのではないのか。 →事務局：具体的な改修内容については含んでいない。ただ、あり方を検討していく上で、実際に施設の現状を知って頂くことは重要と認識している。
地域代表 A委員	配席が2列配置となっているが、後列の方々も議論に参加しやすいように1列配置にする等、配席を工夫して頂きたい。 →事務局：ご指摘を踏まえて、議論しやすい配席について検討する。

以上